

－ 受験生に関する実態調査 －

**受験生の半数以上が勉強にSNSを活用、
勉強専門アカウントについては約5割が興味、約2割が活用**

受験生の約6割が「英語4技能」を意識、対策を始めているのは4人に1人。
自身の英語力、7割以上が「自信がない」と回答しながら、6割が海外志向。
～塾・予備校選びで最も参考にするのは「友人」の意見、家庭内では「母親」が1位に～

学校法人 高宮学園 代々木ゼミナルでは大学受験を予定している高校生を対象に、「受験生に関する実態調査」を行い、現代の高校生の受験に対する意識や生活の実態およびトレンドを調査いたしました。なお本調査は、アドバイザーとして若者自らが若者を分析するマーケティング集団「ADKワカスタ」の協力のもと、2017年2月28日（火）から3月2日（木）の期間、大学受験を予定している全国の15歳～18歳の高校生400名に対してインターネットによるアンケートを行いました。

調査結果概要

＜受験生トレンド＞ 受験生に必須のアイテム

受験生の半数以上が勉強にSNSを活用、
3人に1人以上が利用している「Twitter」が第1位に。

目的は「モチベーションを上げたい」、「記録に残したい」、「共有して安心したい」が上位に。
勉強専門アカウントについては約5割が興味、約2割が活用している実態が明らかに。

＜大学受験と英語科目＞ 英語4技能への意識

受験生の約6割が「英語4技能」を意識、対策を始めているのは4人に1人。
英語4技能に力を入れている塾や予備校に、半数以上が興味。

また、自身の英語力について7割以上が「自信がない」と回答する一方で、
6割が留学や海外勤務などを希望しており、海外志向は高い結果に。

＜新テスト対策＞ 判断力、思考力、表現力への意識

思考力・判断力は半数以上が「自信がある」と回答、
表現力は約6割が「自信がない」

「思考力・判断力・表現力」を8割以上が意識、
いずれも6割以上が「将来も考え、しっかりと対策したい」と回答。

＜塾・予備校選び＞ 受験生が見ているポイント

塾・予備校選びのポイント1位は「自分に合った講座」！

次いで「授業料」、「合格実績」、「講師」が上位に。
6人に1人が「通学の利便性」と回答、立地重視の声も。
また、4人に1人が「友人」の声を最も参考に、6人に1人が「母親」の意見を
最も参考にして予備校を決めていると回答。

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナル調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナル PR事務局

担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071

e-mail : yozemi@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナルのサービスについてのお問い合わせ先＞

代々木ゼミナル 広報企画部

担当：四島

TEL: 03-3379-5221

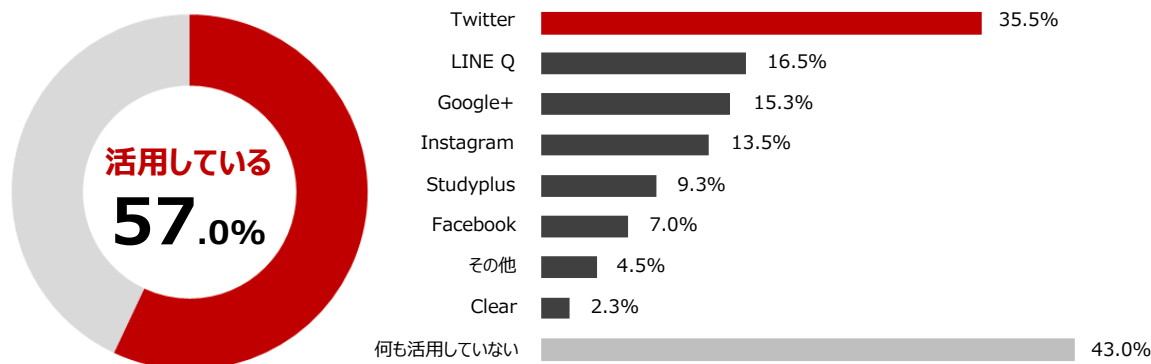
受験生の半数以上が勉強にSNSを活用、
3人に1人以上が活用している「Twitter」が第1位に。

目的は「モチベーションを上げたい」、「記録に残したい」、「共有して安心したい」が上位に。
勉強専門アカウントについては約5割が興味、約2割が活用している実態が明らかに。

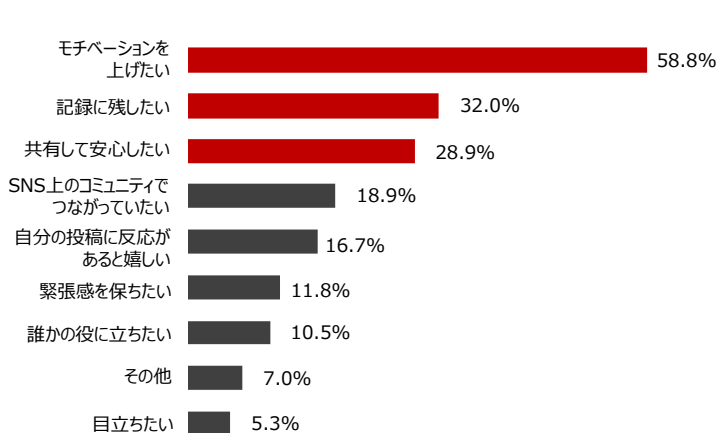
気軽な双方向コミュニケーションツールであるSNS。最近ではSNSを勉強シーンでも活用する人が増えてきました。大学受験を予定している全国の15歳～18歳の高校生400名に対して、「勉強に活用しているSNSは何ですか。」と質問したところ、57.0%が何かしらのSNSを活用していると回答しました。中でも、利用率が最も高かったのは「Twitter (35.5%)」で、3人に1人以上の受験生が活用していることがわかりました。

勉強に何かしらのSNSを活用していると回答した228名に対してその目的を聞くと、「モチベーションを上げたい (58.8%)」、「記録に残したい (32.0%)」、「共有して安心したい (28.9%)」が上位となりました。

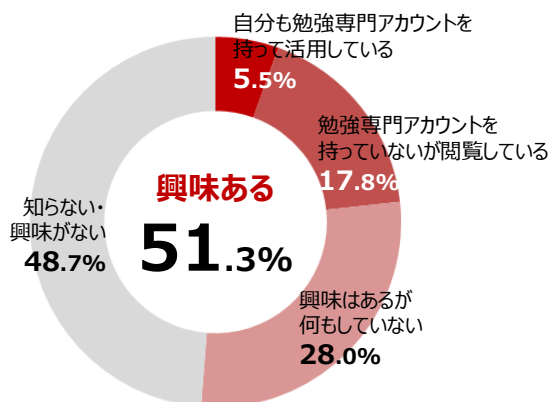
また、SNSの勉強専門アカウントについて聞くと、「自分も勉強専門アカウントを持って活用している (5.5%)」と回答したのはわずかだったものの、「勉強専門アカウントを持っていないが閲覧している (17.8%)」「興味はあるがなにもしていない (28.0%)」と合わせて全体の半数以上が興味を持っていることがわかり、現代の高校生にとって、SNSはプライベートだけではなく受験においても活用機会が増えそうです。



Q.勉強に活用しているSNSは何ですか。(n=400)



Q.勉強にSNSを活用する目的は何ですか。(n=228)



Q. InstagramやTwitterといったSNSの「勉強専門アカウント」についてどう思いますか。(n=400)

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナール調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール PR事務局

担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071

e-mail : yozemi@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナールのサービスについてのお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール 広報企画部

担当：四島

TEL: 03-3379-5221

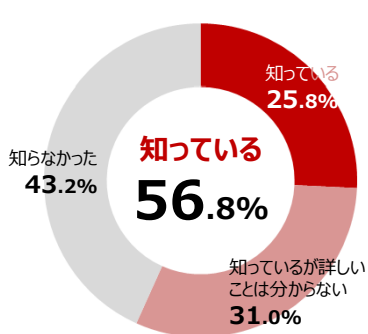
受験生の約6割が「英語4技能」を意識、対策を始めているのは4人に1人。
英語4技能に力を入れている塾や予備校に、半数以上が興味。

また、自身の英語力について7割以上が「自信がない」と回答する一方で、
6割が留学や海外勤務などを希望しており、海外志向は高い結果に。

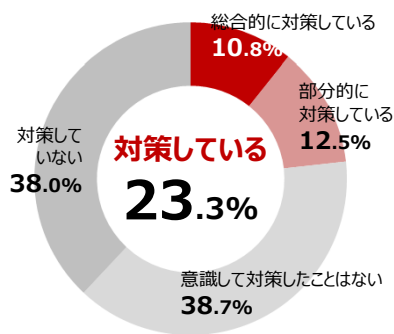
大学入試センター試験の後継となる新テストでは、英語4技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)を総合的に評価する方針が文科省より示されました。その英語4技能について、筑波大学、早稲田大学など一部の大学ではすでにTEAPやGTEC CBTといった英語4技能を測る民間資格検定試験を利用する入試が実施されています。

大学受験を予定している全国の15歳～18歳の高校生400名に対して、「今後の大学入試で、そのような形態の入試がより増えるであろうことを知っていますか。」と質問したところ、56.8%が知っていると回答しました。また、英語4技能に備えて「総合的に対策している(10.8%)」および「部分的に対策している(12.5%)」の、あわせて23.3%つまり4人に1人が何かしらの対策を始めていることがわかりました。さらに、「英語4技能育成に注力している塾・予備校があれば通いたいと思いますか。※英語4技能育成とは、英語を「聞く・話す・読む・書く」といった4つの技能をバランスよく学習するプログラムのことを指します。」と聞くと、半数以上が興味を示しました。

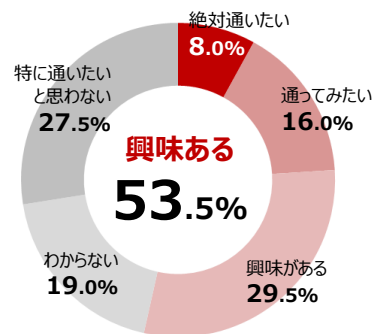
さらに、「自身の英語力についてどう思いますか。」と質問したところ「あまり自信がない(41.0%)」、「苦手である(32.0%)」と、合わせて7割以上の受験生が苦手意識を持っていることがわかりました。一方、「近い将来、海外に出て活動してみたいと思いますか。」と聞くと、約6割が留学や海外勤務など希望しており、将来における海外志向は高い結果がわかりました。



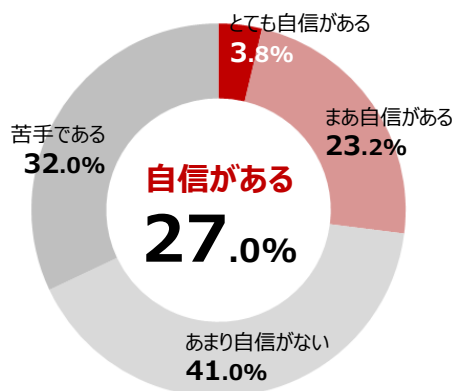
Q.今後の大学入試で、そのような形態の入試がより増えるであろうことを知っていますか。(n=400)



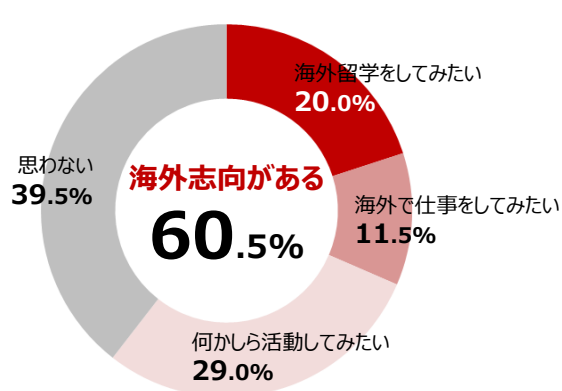
Q.現在、英語4技能への対策を行っていますか。(n=400)



Q.英語4技能育成に注力している塾・予備校があれば通いたいと思いますか。(n=400)



Q.自身の英語力についてどう思いますか。(n=400)



Q.近い将来、海外に出て活動してみたいと思いますか。(n=400)

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナル調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナル PR事務局
担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071
e-mail : yozemi@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナルのサービスについてのお問い合わせ先＞

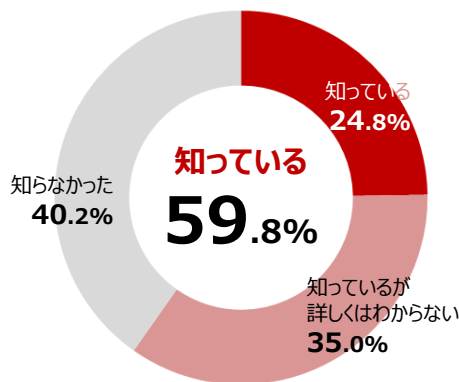
代々木ゼミナル 広報企画部
担当：四島
TEL: 03-3379-5221

**思考力・判断力は半数以上が「自信ある」と回答、
表現力は約6割が「自信がない」**

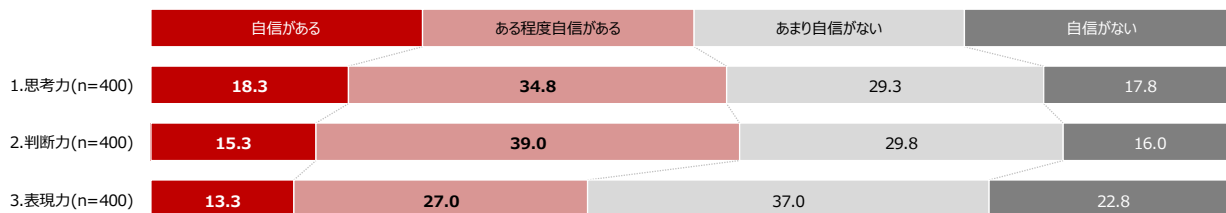
**センター試験後継の新テストを8割以上が意識、
いずれも6割以上が「将来も考え、しっかりと対策したい」と回答。**

今後の大学入試について、前述の新テストにおける記述式問題の導入や、大学には入試問題内容の見直しを求め
るなど、知識や技能に加えて「思考力・判断力・表現力」をより重視する方針が文科省より示されました。

大学受験を予定している全国の15歳～18歳の高校生400名に対して、「大学入試センター試験の後継となる新テ
ストでは、知識・技能の評価も行いつつ「思考力・判断力・表現力」がより重視されることを知っていましたか。」と質問し
たところ、約6割が知っていると回答しました。そのうえで、「思考力・判断力・表現力」それぞれについて自信の有無を聞
くと、「思考力」および「判断力」については半数以上が「自信がある」と回答したのに対し、「表現力」については、
約6割が「自信がない」と回答しました。また、「新テストをはじめ、今後「思考力・判断力・表現力」がより求められてい
くことに関してどう思いますか。」と聞くと、8割以上が意識しており、6割以上がこの3つの力すべてについて「将来も考え、
しっかりと対策したい」と回答しました。



Q. 大学入試センター試験の後継となる新テストでは、知識・技能の評価も行いつつ「思考力・判断力・表現力」がより重視されることを知っていましたか。(n=400)



Q. 「思考力・判断力・表現力」についてそれぞれ自信がありますか。(n=400)



Q. 新テストをはじめ、今後「思考力・判断力・表現力」がより求められていくことに関してどう思いますか。(n=400)

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナール調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール PR事務局

担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071

e-mail : yozemi@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナールのサービスについてのお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール 広報企画部

担当：四島

TEL: 03-3379-5221

塾・予備校選びのポイント1位は「自分に合った講座」！

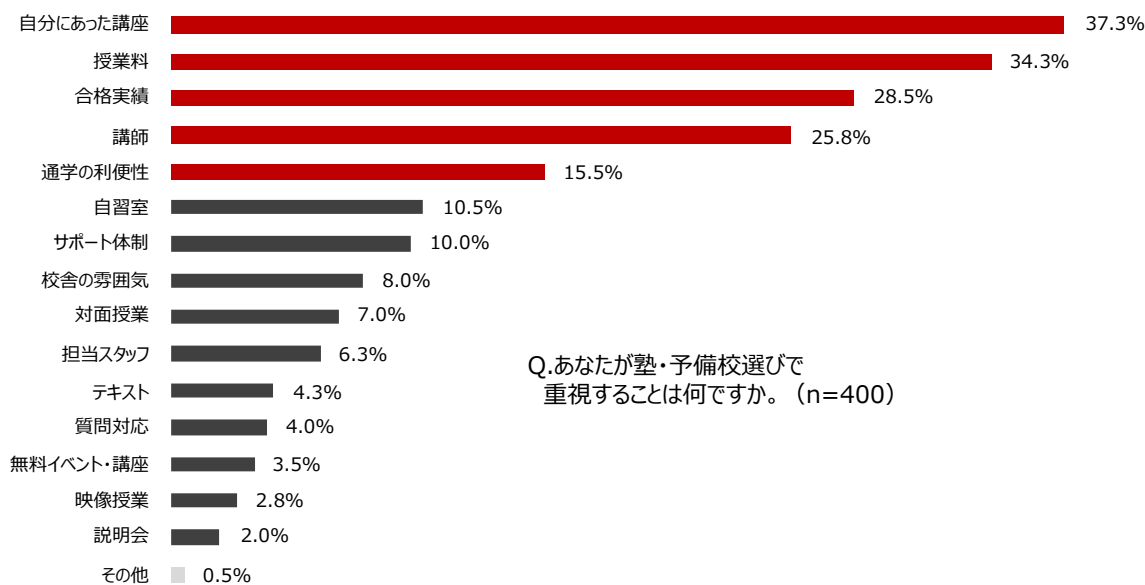
次いで「授業料」、「合格実績」、「講師」が上位に。

6人に1人が「通学の利便性」と回答、立地重視の声も。

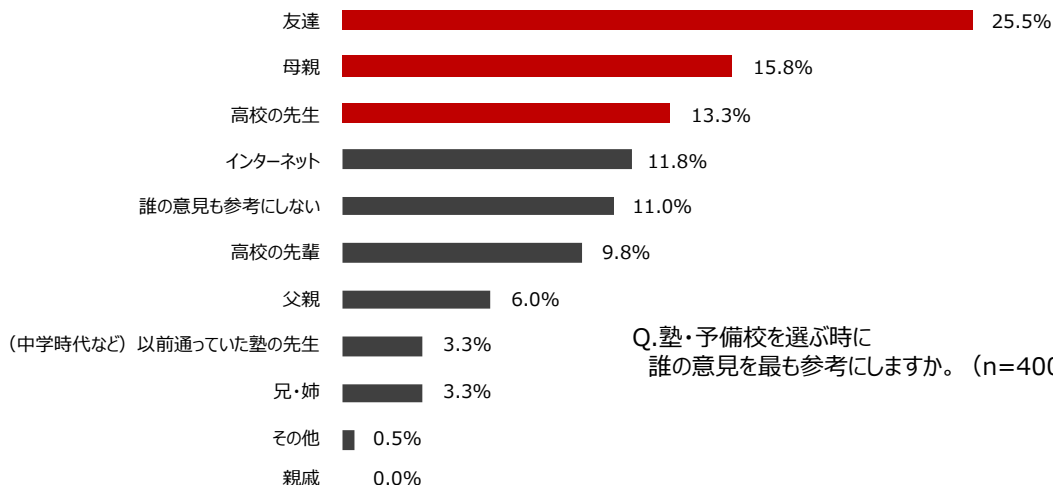
また、4人に1人が「友人」の声を最も参考に、6人に1人が「母親」の意見を最も参考にして予備校を決めていると回答。

大学受験を予定している全国の15歳～18歳の高校生400名に対して、「あなたが塾・予備校選びで重視することは何ですか。」と質問したところ、「自分に合った講座（37.3%）」という回答が最も多く、次いで、僅差で「授業料（34.3%）」という結果となり、講座のレベルや内容が自分に合っているだけでなく、多くの学生が授業料まで考慮して予備校を選んでいることが分かりました。また、4人に1人が「講師（25.8%）」も重視しており、どんな講師が教えてくれるのかという点も選ぶポイントとなっていることが明らかになりました。

また、「塾・予備校を選ぶ時に誰の意見を最も参考にしますか。」と質問したところ、4人に1人が「友達（25.5%）」の意見を最も参考にしていると回答。次いで「母親（15.8%）」、「高校の先生（13.3%）」となっており、とりわけ家庭内では「父親（6.0%）」、「兄・姉（3.3%）」に大差をつけて、母親の影響が大きいことがわかりました。



Q.あなたが塾・予備校選びで重視することは何ですか。(n=400)



Q.塾・予備校を選ぶ時に誰の意見を最も参考にしますか。(n=400)

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナール調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール PR事務局

担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071

e-mail：yozemi@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナールのサービスについてのお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール 広報企画部

担当：四島

TEL: 03-3379-5221

志望校が母校になる。

代々木ゼミナール



合格ラインを、ぶっちぎれ。

～代々木ゼミナールの大学入試改革への対応～

■「英語 4 技能」評価 <http://www.yozemi.ac.jp/english4/>

**GTEC CBT解説講義
〈Over800!〉**

英語検定試験GTEC CBT※
(1400点満点)で800点以上をめざす対策講座です。

TEAP対策実戦演習

英語検定試験TEAPの対策講座。テストゼミ形式で短期間で
の得点力向上をめざします。

Trinity総合英語

「文法」読解「英作文」を三位一体
で学習し、英語 4 技能の基礎を
効果的に学べる新しい講座です。

ベストティーチャー

SpeakingとWritingが
両方受講できる唯一のオン
ライン英会話スクールです。

※「GTEC CBT」は、CEESとベネッセコーポレーションが運営する英語検定試験です。

■「思考力・判断力・表現力」評価

論理力評価テスト SRT (Scholastic Reasoning Test)

SAPIX・代ゼミグループが開発した、現在進行中の大学入試改革で求められる論理的思考力を測る新しいテストです。

<http://www.y-sapix.com/moshi/srt20171029/>

～代々木ゼミナールの『希望実現型プログラム』～

<http://www.yozemi.ac.jp/course/>

大学受験科

高卒生対象

オリカリ 「オリジナルカリキュラムコース」

自分の学力や志望校レベルに合わせたカリキュラム
を組むことができるコースです。

高校生コース

高1・2・3生対象

フォトレ 「フォローアップトレーニング」

授業後の小テストと映像による解説講義を組み合わせ
て、より確実な学力定着を図ります。



若者マーケットター集団「ワカスタ」

ADK若者スタジオ 通称「ワカスタ」とは、若者自身が
マーケットターとなり、自分のこと、周りのことを踏まえて
いまどきの若者インサイトや攻略策のヒントを導き出していく
ワークショップスタイルを用いた若者研究所です。

<http://wakasuta.com/>

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「代々木ゼミナール調べ」と明記ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール PR事務局

担当：船越・神保 TEL: 03-5572-6071

e-mail: yozeami@vectorinc.co.jp

＜代々木ゼミナールのサービスについてのお問い合わせ先＞

代々木ゼミナール 広報企画部

担当：四島

TEL: 03-3379-5221